



藤沼池

滝の美人さま

《滝》

(話者 小針 平)

昔、滝部落に振屋敷とよばれる屋敷があった。この屋敷には武士が住んでいた。

武士には一人の美しい娘がいて、村人たちは娘を美人さまとよんでいた。娘は年中美しい振袖を着て、村人たちのあこがれのまどだった。

それから誰いうとなく、武士の屋敷を振屋敷とよんだ。今は古屋敷とよんでいる。

(話者 小針 平)

いない。

田向池の水がひくと、重兵衛が堀つたと伝えられる井戸が、池の中に見られるという。

田向池の近くに、一日三度でるといわれる清水が現在も残っている。滝部落の人々は毒清水といつて、誰も飲む人はいなかった。なぜ毒清水といふ伝えられたのか、知っている人は誰もいない。

重兵衛は滝部落の小針某家の先祖といわれる。